

2016年9月 竹パウダーニュース

「 “ブランド米「里山の夢」” 収穫開始！！」

写真は9月13日に殿垣内町の圃場での稲刈風景です。今年は8月末まで好天が続き、出穂期（穂が出る時期）も昨年より4～5日早くなり、新米出荷も早まりそうです。

山内自治振興区米づくり研究会では、収穫にあたり9月5日、9月10日の2回に分けて、県農業技術指導所の指導員、市、JAの担当者と生産者に参加をしてもらい研修を行いました。

積算温度やモミの黄化率による刈取適期の判定法や、カントリーエレベーターへの生籾出荷と倉庫への玄米出荷方法について研修し、収穫に向けての準備をしました。

現在240余枚の圃場でブランド米づくりを行っていますが、今年の作柄は天候・生産者の努力で順調に推移しています。地力強化対策として散布した鉄資材の効果もあり、今年も美味しいお米期待できそうです。



2016年10月 竹パウダーニュース

「 “ブランド米「里山の夢」” イベントでPR活動！！」

今年は、出穂時期の7月～9月上旬が好天に恵まれ、品質の良い高食味のお米ができました。食味計による測定でも最高点タンパク値6.1%、食味値95点など、ほとんどのお米がブランド米基準を大きくクリアし出荷されました。

出荷見込み数量は、カントリーエレベーターへの出荷約3000袋、玄米出荷約3500袋で昨年を1000袋程度上回る見込みとなっています。

また、新米販売もインターネット・電話での直接販売、かんぽの郷・ゆめさくら等の店頭販売も9月24日よりスタートしました。

写真にあるガーデンフェスタへの販売ブース出展（備北丘陵公園10月9日）、モーモー祭（口和町10月8～9日）、大阪府堺市でのイベント販売（10月8～10日）や甘日市市のスーパー「ゆめタウン」での店頭試食販売（10月15～16日）など生産者が手分けして新米イベントを行いました。年内に、東京（イトーヨーカ堂）などでの店頭試食販売を計画しています。

より良いお米の栽培と販売網の拡大に今後とも努力していきます。

2016年11月 竹パウダーニュース

「 “広島ビジネスフェア” に出展しPR活動！！」

11月8日に広島県立体育館（グリーンアリーナ）で行われた『第11回広島県信用金庫合同ビジネスフェア 2016』に庄原市ブランド米推進協議会（庄原里山の夢ファーム、藤本農園、西城美味しい米づくり研究会）で出展し、庄原米をPRしました。このフェアには4年前より参加していますが、年々規模も拡大し、今年は県内の342の企業・団体・学校等がブースを出していました。来場者にお米を食べてもらったり、出展者同士で情報交換をしたりと有意義なフェア参加となりました。

2016年12月 竹パウダーニュース

「第3回すし米コンテスト・国際大会にてすし米特別賞を受賞！！」

里山の夢が「すし米コンテスト・国際大会」で最高賞の“すし米特別賞”に選ばれました。

その受賞式が熊本県菊池市で12月4日に行われ、日本・海外から応募のあった出品の中から、玄米・白米・白飯・酢飯の4つの審査・分析の結果、過去最高点で寿司米に最良のお米として選出されました。(世界一のすし米との検査機関のコメントです。)

すし米に合うお米は、①大粒であること、②整粒率が高いこと、③硬い米質であることなどの特徴があるそうです。特に分析の中でミネラル含有量が多いことが最高点につながったようで、竹堆肥に牡蠣殻を混ぜて栽培している効果がでたと考えています。

今回の受賞で「里山の夢・あきさかり」が寿司米としての適応品質であることが確認され、販売ルートが開ける可能性を見出すことができました。

今世界的な寿司ブームを背景に売り出していければと考えています。

「第18回米・食味分析鑑定コンクール・国際大会にて都道府県代表お米選手権で特別優秀賞を受賞！！」

里山の夢の生産者“村田定敏さん”のお米が出品米の中で、食味値・味度値の合計点が広島県の最高点で「広島県代表」にノミネートされました。

その決勝大会が熊本県菊池市で12月3日に行われ、30名の審査員による官能審査（実際に試食）が実施され、全国の代表米の中で“特別優秀賞”に選ばれました。

今回の国際大会で2つの賞を受賞でき、ブランド米としてさらにレベルアップした感があります。今後とも努力していきます。

